

・住まいづくりのお悩みはございませんか？

「土地の値段、土地柄や地域のこと、今住んでいる家の水回りや外壁の老朽化など・・・。」  
なんとなく考えているお悩みでもかまいません。  
「建売住宅を買ったけど、使い勝手を変えたい！」  
「この家は、地震の時本当に大丈夫？子供が増えてもリフォームせずに使う方法はないのかな？」  
年老ったり、介護が始まった時の使い方ってあるのかな？」  
「"あれもしたい、これもしたい"と予算と希望が違いすぎるので聞いても仕方ない？」  
なにを準備したらいいの？」  
などいろんなお悩みがございませんか？

未来の暮らし方やその方向性を専門家のアドバイスで住まいづくりの実現性を膨ませてみませんか？  
新築だけでなく、建て替えやリフォームをお考えの方には、複数の専門家によるフリープラン提案によるサービスがあります。フリープランサービスの詳細は、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。  
近日中にホームページでもお知らせする予定です。

編集後記

井戸田 精一 井戸田精一アトリエ

E-mail:ateleir@gaia.eonet.ne.jp  
URL:http://www.eonet.ne.jp/~ateleir

ペンネーム「ハコビ家」です。家づくりの幸せをはこび、運び屋になりたいと思っています。  
設計事務所のある東大阪でたくさんのホテルが飛ぶようにしたいと思っています。住まいの間取りや、家と庭との関係など、建物の周りの環境づくりも大切な仕事と思っています。

辻 祐司 辻 建築設計室

E-mail:0805tsuji-ken@ares.eonet.ne.jp

先日、娘の吹奏楽のコンサートに行ってきた。総勢100名からなる楽団の、各々の奏でる音がひとつなる。聴いている側は、その心地良い音色につられ、つい、ウトウト。やっぱり眠ってしまいました。心地良い場所というものは、ウトウトしてしまうものです。  
住宅にもそんな場所が必要だと思えます。「あなたのウトウト出来る場所って、どんな処ですか？」

橋爪 恒平 atelier nest -アトリエネスト-

E-mail:atelier\_nest@ab.auone-net.jp

休日にロードバイク（自転車）でよく町中を走ります。始めて半年程なのでまだまだ入門程度ですが、特にサイクリングロード等を走っているとこの季節はとても気持ち良く、つい「もっと行ってみよう！」と遠出しがちになります。翌日、筋肉痛になることも忘れて。。。

松村 泰徳 松村泰徳建築事務所

E-mail:contact@ym-arc.jp  
URL:http://www.ym-arc.jp

シイタケ栽培を立木の切り出しからやっています。環境破壊？いえいえ、適度な間伐は森に日光と風を採り入れ健全な里山を造るのです。因みにカブトムシやクワガタにとって、手入れを怠った森は自由に飛び回ることができず暮らしにくいそうです。  
本当の目的はシイタケではなく、その副産物だったりして・・・！？

山田 慎輔 山田慎輔 建築設計室

E-mail:ya-madal120@eco.ocn.ne.jp

いよいよスタートです。チャレンジしたい事は沢山ありますが、何ができるのか、何をしたら喜ばれるのか現在模索中です。桜の綺麗な季節にこの原稿を書いています。  
私達の行動が実を結びいつかを夢見て・・・

編集・発行 [アーキテクトキャラバン]

本誌、[アーキテクトキャラバン]は建築設計に携わる有志5名により、年四回程度の季刊誌形式にて、家づくりにまつわる内容や建築と関連した話題等をお届けして参ります。ご意見・ご感想・相談等御座いましたら右記事務局へご連絡頂きます様宜しくお願い致します。

事務局／松村泰徳建築事務所  
奈良県葛城市北花内261-5  
TEL : 0745-69-5938  
FAX : 0745-60-6524  
E-mail:contact@ym-arc.jp  
URL :http://www.ym-arc.jp  
Copy right 2010 Architect Caravan All rights reserved

[アーキテクトキャラバン] -家をつくる専門家の集まり-

創刊に寄せてのごあいさつ

この度、[アーキテクトキャラバン]として建築設計に携わる有志が集まり、普段の活動内容や考えていることを広く皆様へ発信する場として、本誌を発行させて頂くこととなりました。年四回程度の季刊誌形式にて、家づくりにまつわる内容や建築と関連した話題等を取り上げ、レポートとしてお届けし、将来的には住宅現場の見学会や住まいにまつわるご相談会等を企画して参りたく考えております。

皆さまのお手許に届き、目に触れた際には是非ご一読頂き、ご意見・ご感想等を通じ、僭越ながら交流へのきっかけとなれば幸いです。宜しくお願い申し上げます。

[アーキテクトキャラバン] メンバー 一同

家族で木の工作を楽しもうと思い「木の学校」に参加しました

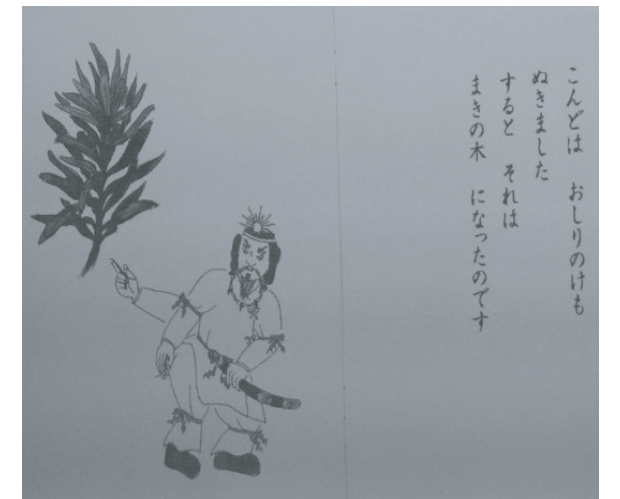
ハコビ家

学校が開かれた和歌山市内の伊太祁曽神社は、毎年4月第1日曜日には「木祭り」がおこなわれます。この神社には、木の神様「五十猛命（イタケルノミコト）、大屋津比売命、都麻津比売命」が祀られていることを聞いて驚きました。五十猛命は、素盞鳴尊（スサノオノミコト）の御子神様で、二人の妹神と日本全土に木の種を巻き植林されたことが伝えられています。

素盞鳴尊の話で、髭を抜くと杉（すぎ）になり、胸毛を抜くと檜（ひのき）になり、尻毛は、被（まきのき）となり、眉毛はくすとなり、そして、「すぎとくすは、船の材に、ひのきは社殿を造る材に、まきのきは、棺桶に利用しなさい」と言われたことを聞きました。

昔から、日本じゅうで家を始めに、船、寺社仏閣、お城などほとんどが木で造られていたことから、様々な分野で技術をもった職人が育ったイメージが湧いてきます。工作は、加工された箸の材料をもらって、紙やすりで磨きました。そして、火おこしは、火は絶やさず引き継がれることを意味することを教えられました。焼きすぎ板にすることで燃えにくい外壁材となることや柱や梁の組み物のばらして組立てることで強固な組み方を知ったりと楽しい体験をさせてもらいました。

学校の終わりには、「木を切ることは環境破壊ですか」と質問をされ、木を育てることの大切さから鉄やコンクリートと比べて省エネルギーになる木の家づくりへと話が続き、私たちのエネルギーに依存した環境づくりも変わらなければならないことを知り、木の家づくりの大切さを改めて感じます。



素盞鳴尊が、尻毛を抜くところ



柱や梁の組み物

